

第126号（2017年4月18日発行）



愛研技術通信

掲 示 板

法令・告示・通知・最新記事・その他

新年度を迎え、弊社にも1名、期待のフレッシュマンが入社。御鞭撻をいただきますよう次号で紹介をさせていただきます。



<新社員を囲んで 写真左が社長>

寄稿 ロシア記

測定分析部 三輪 兼治郎 荒木 優

去る3月の5日から10日までロシアのサンクトペテルブルグにある某工場での測定に行ってきました。その報告をします。

突然の測定の打診からとんとん拍子に決定し、大慌てでパスポートを取得しました。年度末近くということもあり、前日の深夜まで準備をすることになりました。また諸事情により測定機材を事前に空輸できず、機内へ重い機材を持ち込み運びました。

サンクトペテルブルグへの日本からの直行便はなく、フィンランドのヘルシンキ空港からの乗り継ぎで、渡航に11時間ほどかかりました。時差は6時間あり、昼の12時に出発したのですが到着したのは現地時間で夜の8時になりました。



(写真左：ヘルシンキからの飛行機 写真右：ヘルシンキのムーミンショップ)

測定は日本から持ち込んだ機材で行うのですが、ロシアでは電源が220Vです。そのままでは使えないため変圧器で電圧変換して使用しましたが、変圧器が煙を吹くトラブルがあり代替品を現地調達しなければならなくなり、スケジュールが遅れる事態になりました。また、打ち合わせで確認していた測定口の施工が現地では違って対応してもらおうなど、いろいろありましたが最終的にはすべての工程を終わらせることができました。

海外では日本では思いもよらぬ事が起き、かつ現場ですべて対応しなければならないため、今回の業務は今後の自分の経験として大きなものになりました。

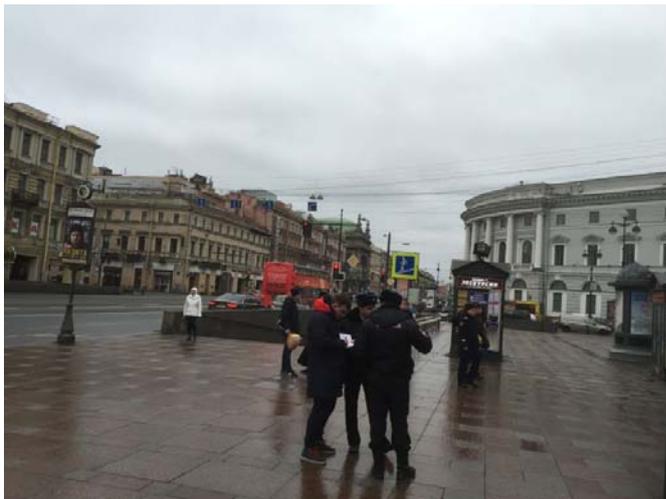


(現地某工場にて 写真左：三輪 兼治郎 写真右：荒木 優)

最終日は午後に余裕ができたのでエルミタージュ美術館とその近くにある教会に市内観光に出かけました。エルミタージュ美術館はフランスのルーヴル美術館、アメリカのメトロポリタン美術館と並ぶ世界三大美術館の一つです。またその近くにロシア正教の教会が数多くあります。

ホテルから市街地へは離れているので地下鉄で美術館近くのソフツキー大通り駅に向かいました。30分程で到着すると中世ヨーロッパ様式の建物が立ち並んでいました。

サンクトペテルブルグでは観光都市で有名で、街の景観をできるだけ昔のままにしておいていると聞きましたが、殆どすべての建物がそのままに残っており、ある種の感動を覚えます。日本では京都の景観の改善を叫ばれていますがこういう都市を見ると見習わなくてはと思います。



(写真左：サンクトペテルブルグ市内の様子
写真右：地下鉄駅のエスカレーター
世界で最も深いところを走っている。)

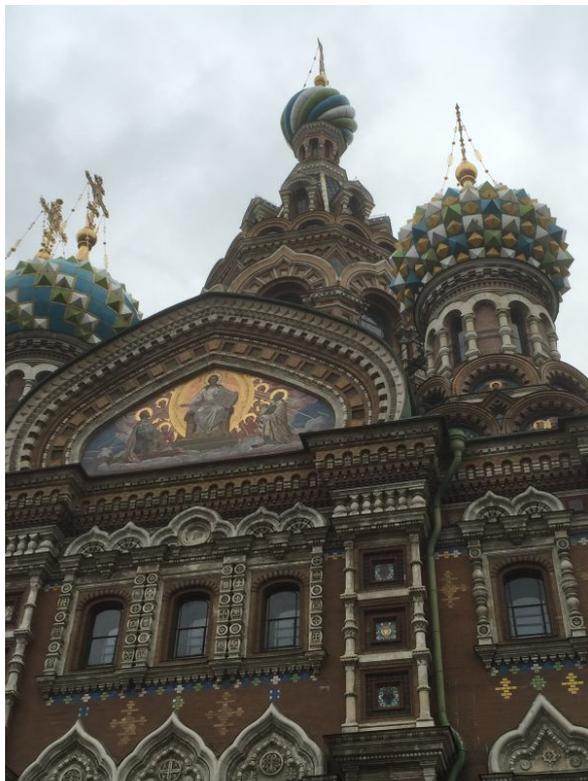
ソフツキー大通りは目抜き通りで非常に人が多く賑わっています。その大通りを10分ほど歩き、カザン大聖堂を見学しました。カザン大聖堂はロシア正教の総本山ともいべき聖堂で、ロシア教徒の方が大勢いてイコン(信仰の対象となる肖像)に礼拝をしていました。中では賛美歌が斉唱され荘厳な雰囲気を感じます。

カザン大聖堂を見学した後、血の上の救世主教会へ向かいました。物騒な名前ですが、なんでも皇帝が暗殺された場所に弔うために建てられたものだそうです。いかにもロシア的な玉ねぎ型の頭でモザイク画が素晴らしいということでしたがその日が休日だったため中には入れませんでした。残念です。

(写真右：カザン大聖堂)



最後に、教会を横目に市内を流れる川沿いに美術館へと向かいます。川は驚くことに凍っていました。サンクトペテルブルグは北緯60度にあり、北海道よりもはるか北に位置するので、冬の川はほとんど凍っているそうです。教会に行くときに通った川では氷の上でバイクが走るパフォーマンスをしていました。ちょっと日本人としては想像しづらい状況ですね。



(写真左：血の上の救世主教会、写真右：氷の上のバイクパフォーマンス)

エルミタージュ美術館は昔宮殿だった建物をそのまま使い、前は広場になっています。入館料は600ルーブル(1500円位)で、コートを預けて館内に入ります。所蔵品は35万点もあり、展示品だけでも3万点を超えます。なんでも、すべての展示品を解説して回ると4日ほどかかるそうです。

館内を回りながら一番の目玉であるダヴィンチの絵画を見に行きました。『ブノワの聖母』と言う作品でエルミタージュ美術館の中でも代表的な絵画です。ただその絵画も圧倒的な数の展示物の中に展示してあり、この美術館の包容力を感じました。



(写真左：エルミタージュ美術館外観
写真右：『ブノワの聖母』)



(写真 エルミタージュ美術館内部)

ロシアでの環境測定が今後も発注されることはないかもしれませんが、また何かの機会があれば訪問したいと思います。

そして帰国してから一月後、サンクトペテルブルグの地下鉄でテロ事件が発生しました。駅を確認してみると美術館に向かうのに使った路線の駅です。現地で地下鉄に乗る時も駅員に職務質問を受けたりと嚴重なテロへの警戒体制を取っていましたが、まさか自分の乗っていた路線でそのような事が起きるとはと背筋が凍りました。

テロの犠牲になった人々に哀悼の意を表しこのロシア記を終わります。



路線	行き	月日(曜日)	時間	機名	予約	座席	所要時間	備考
サンクトペテルブルグ	ヘルシンキ	3月9日(木)	12:05	AY166	/V	予約済	1015	1/2
ヘルシンキ	名古屋	3月9日(木)	17:15	AY079	/V	予約済	9025	
名古屋	ヘルシンキ	3月10日(金)	09:40	40ZVEY			1015	2/1
AY フィンランド航空	マイルージ	AY	JL323260509					
○	線	AY084	KENJIRO	都市				
名古屋	ヘルシンキ	3月4日(土)	11:55	AY080	/S	予約済	310	1015
ヘルシンキ	サンクトペテルブルグ	3月4日(土)	18:00	AY169	/S	予約済	40ZVEY	1/2
サンクトペテルブルグ	ヘルシンキ	3月9日(木)	13:05	AY166	/V	予約済	40ZVEY	1015
ヘルシンキ	名古屋	3月9日(木)	17:15	AY079	/V	予約済	9025	2/1
名古屋	ヘルシンキ	3月10日(金)	09:40	40ZVEY			1015	2/1

AY フィンランド航空

(写真左：土産店にて 写真右：今回の飛行ルート)

編集後記

3月末で元会長の鎌田 務氏が退職し、創業当時を知る社員がいなくなりました。4月から小野寺取締役を加えた新経営体制がスタートします。良き伝統を守りつつ時代の変化に敏感に対応できるよう、お客様始め関係取引先及び社員との「会話」を大切にしていこう努めます。(A. K.)



株式会社 愛 研

(<http://www.ai-ken.co.jp>)

本 社 〒463-0037 名古屋市守山区天子田 2-710

電話(052)771-2717 FAX(052)771-2641

半田営業所 〒475-0088 半田市花田町 2-65

電話(0569)28-4738 FAX(0569)28-4749